

羽曳野市立学校給食センター等複合施設整備基本計画 概要版

I. 計画概要

〈事業名称〉：羽曳野市立学校給食センター等複合施設整備事業

〈基本計画策定の目的〉：羽曳野市において、40年以上にわたり学校教育施設14校に通う児童生徒の給食を提供している第1学校給食センター・第2学校給食センターの老朽化した建物及び内部設備の更新のために、学校給食センターの新設を行う必要があるとして、令和元年に「学校給食センター建替え基本構想」が策定されました。

その後、計画敷地が変更されることに伴い、基本構想時に検討した内容の変更となる事項について本基本計画において再検討を行うとともに、基本構想での検討内容を踏まえ、学校給食センター及び青少年児童センターの整備の方針や計画敷地、スケジュール等を検討し、基本設計に向けての条件整理を行うものです。

〈施設の供用開始〉：令和8年4月からの供用開始を目指す。

〈建設予定地の概要〉

所在地	羽曳野市向野3丁目1番33号（青少年児童センター）
敷地面積	約13,800㎡
用途地域等	準工業地域 市街化区域（建築基準法第22条区域内・景観計画区域内）
容積率・建ぺい率	容積率200% 建ぺい率60%
その他規制	防火地域：無指定 景観地区：無指定 高度地区：無指定 宅地造成規制区域：外 都市計画施設：なし 埋蔵文化地域：無指定（ただし敷地300㎡以上で試掘調査必要）
既存建築物	青少年児童センター(会館部分) RC造2階建 延床面積 約1,500㎡ (体育館部分)RC造2階建 延床面積 約850㎡ 倉庫棟 S造2階建 延床面積 約80㎡ 便所棟 S造平屋建 延床面積 約25㎡

II. 基本方針

〈基本方針〉 公共施設等適正管理推進事業債の集約化・複合化事業の適用にあたり、学校給食センターと青少年児童センターとの複合化を図ります。

計画建物	学校給食センター 延床面積 約3,000㎡ 新築 青少年児童センター会館部分 延床面積 約800㎡ 新築 青少年児童センター体育館部分 延床面積 約850㎡ 改修
解体建物	青少年児童センター会館部分 RC造2階建 延床面積 約1,500㎡ 倉庫棟 S造2階建 延床面積 約80㎡ 便所棟 S造平屋建 延床面積 約25㎡

〈学校給食センター〉 調理能力5,000食、調理エリアはドライ運用

〈青少年児童センター〉「羽曳野市地域防災計画（令和2年策定）」において一時避難所として指定されており、老朽化した体育館部分については改修を行います。

〈配慮事項〉 整備に際しては、以下の事項に配慮します。

- ①複合施設として、各施設利用者の適切な動線を考慮した計画とします。
- ②SDGsへの取り組みのうち、環境への配慮として、屋上に太陽光発電設備等を設置する計画を行います。
- ③メンテナンス性を考慮し、将来の維持管理に優位性のある計画とします。
- ④地域防災の観点から考慮した計画とします。
- ⑤既存施設の部分解体を伴うため、解体前後の建築計画についても十分検討します。
- ⑥設備機器等の騒音対策を考慮した計画とします。

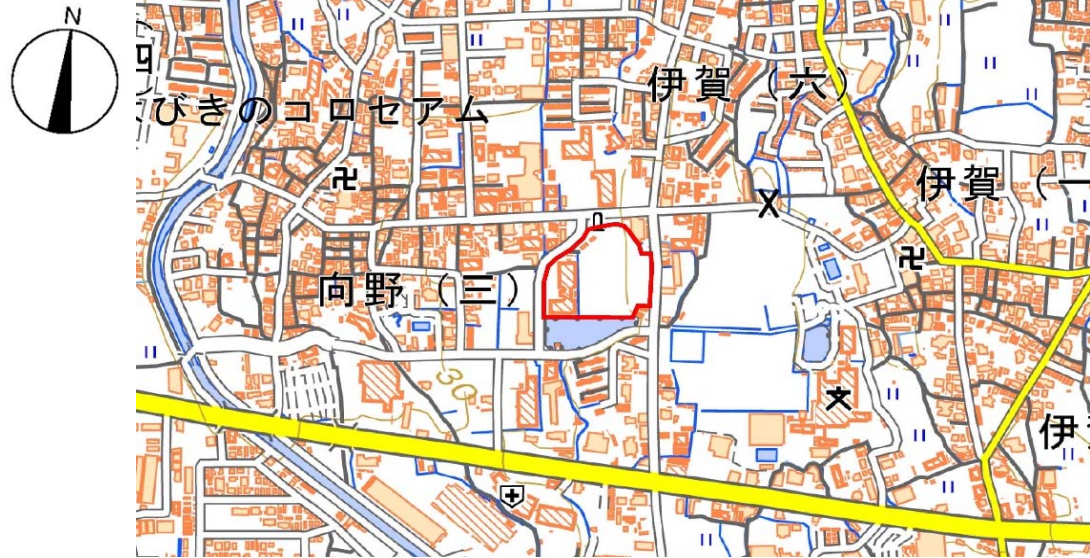
III. 整備方針

〈整備の方向性〉

- ①建設予定地は青少年児童センター敷地及び青少年運動広場敷地を合わせた敷地であり、青少年児童センター会館部分及び倉庫、便所棟を解体し、新たに学校給食センターと既存の青少年児童センターを集約した一棟の複合施設として整備します。また、既存青少年児童センター体育館部分は改修します。
- ②衛生上及び管理上の観点から、学校給食センターと青少年児童センターとは、建物内での行き来はない計画とします。
- ③学校給食センター内では、調理エリアとその他のエリアとは明確に区分し、衛生管理の向上を図ります。また、食育のために、調理エリアを見学できる場所を2階に設ける計画とします。
- ④事業手法の検討
公設公営方式（従来方式）、公設民営化方式、DB方式、DBO方式、PFI方式を比較検討した結果、最も短期間で建設でき、かつ、設計段階から合理的で創造的な提案がなされることによりコスト削減等が期待できるDB方式を採用します。また、その中でも市の意向をより具体的に反映することができる基本設計先行型DB方式により事業を推進します。
- ⑤事業費の試算
基本設計から供用開始までのイニシャルコストの概算事業費は、税込総額約39.7億円を想定しています。
- ⑥供用開始までの想定スケジュール

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	基本設計 約6ヶ月	設計監修 約11ヶ月		
	CM業務 約32ヶ月			
		実施設計 約7ヶ月	工事期間 約15ヶ月	
				R8年4月供用開始

位置図兼付近見取図



所在地	羽曳野市向野3丁目1番33号 (青少年児童センター)	
インフラの状況	上水道	計画敷地西側道路に本管φ100 計画敷地東側道路に本管φ300、φ600
	下水道	計画敷地西側道路に本管φ200、接続管φ150×2ヶ所 ※現状は浄化槽を使用しており公共下水道へは未接続
	ガス	計画敷地西側道路に大阪ガス管φ80
	電気	関西電力の引き込みあり
接道状況	西側	建築基準法第42条第1項第1号道路 (向野21号線) 幅員6.7m~10.3m
	東側	建築基準法第42条第1項第1号道路 (西新田南宮線) 幅員6.9m~8.4m

概算事業費

(1) イニシャルコスト (税抜：千円)

項目	計
建設費	¥ 3, 109, 080
解体工事費	¥ 128, 400
その他工事費	¥ 176, 940
基本設計費	¥ 38, 312
実施設計費	¥ 71, 643
工事監理費	¥ 23, 867
CM費	¥ 55, 000
合計	¥ 3, 603, 242

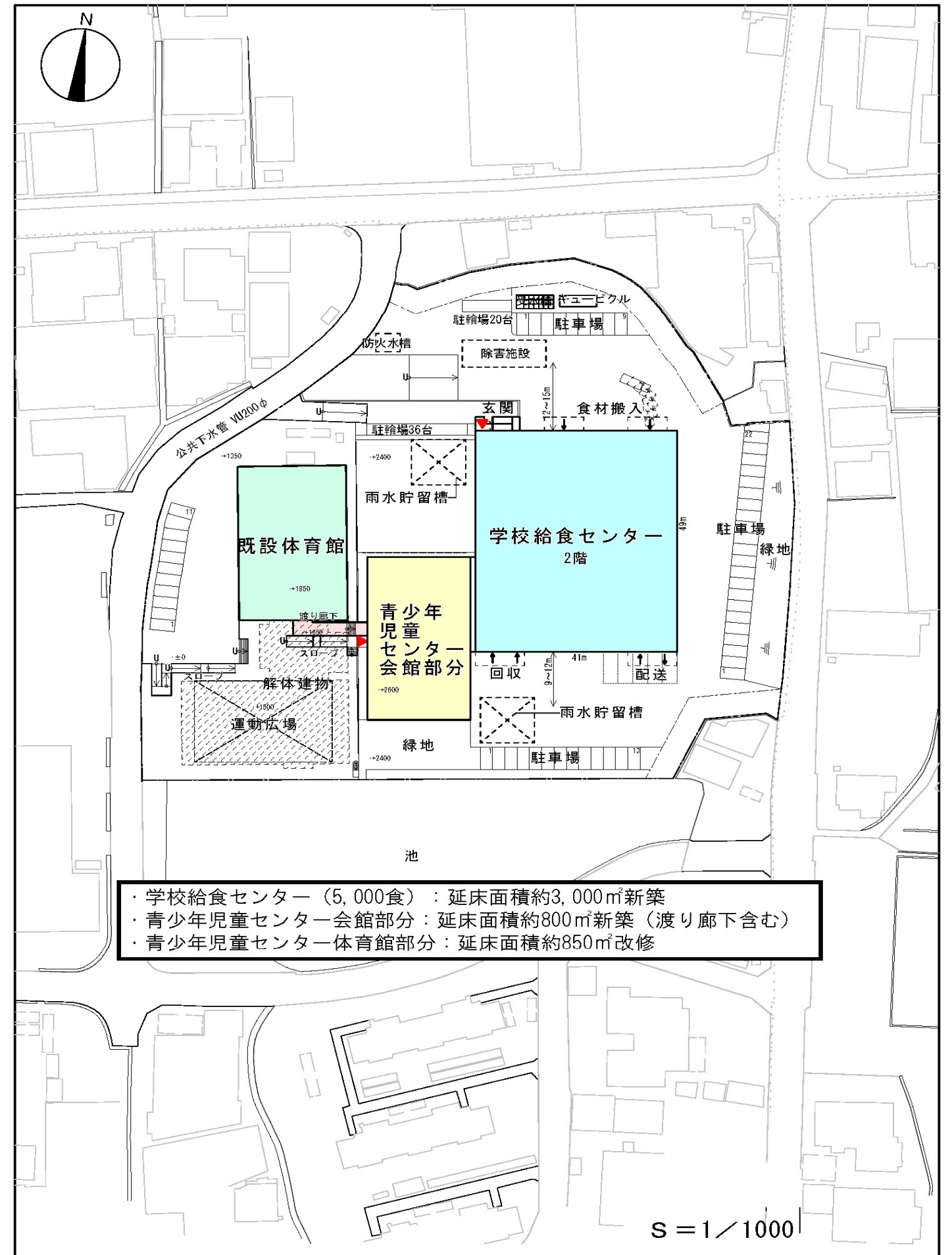
(2) ランニングコスト (税抜：千円)

項目	計	事業期間 (15年)
維持管理費	¥ 388, 770	
修繕費	¥ 707, 055	
配送車両更新費	¥ 42, 500	
調理業務委託費	¥ 3, 750, 000	
合計	¥ 4, 888, 325	

(3) 事業費の算出結果

イニシャルコスト (税抜：千円)	ランニングコスト (税抜：千円)	総合計 (税込：千円) (100万単位未満切り捨て)
¥ 3, 603, 242	¥ 4, 888, 325	¥ 9, 340, 000

配置計画案



・学校給食センター (5,000食) : 延床面積約3,000㎡新築
 ・青少年児童センター会館部分 : 延床面積約800㎡新築 (渡り廊下含む)
 ・青少年児童センター体育館部分 : 延床面積約850㎡改修

S=1/1000